

JILS のウマい使い方

業界トレンド



「物流の課題をロジスティクスで解く」
持続可能な加工食品物流を
構築するために

はじめに：物流とロジスティクス

ロジスティクスは戦略的な経営管理です。その目標は、需要と供給の適正化をはかるとともに顧客満足を向上させ、あわせて環境保全及び安全対策をはじめ社会的課題への対応をめざすことにあります。物流はその手段であり、ロジスティクスは、包装・輸送・保管・荷役・流通加工・情報の6つの物流機能を高度化し、調達・生産・販売・回収の4つの物流分野を統合することで目標を実現します*1。

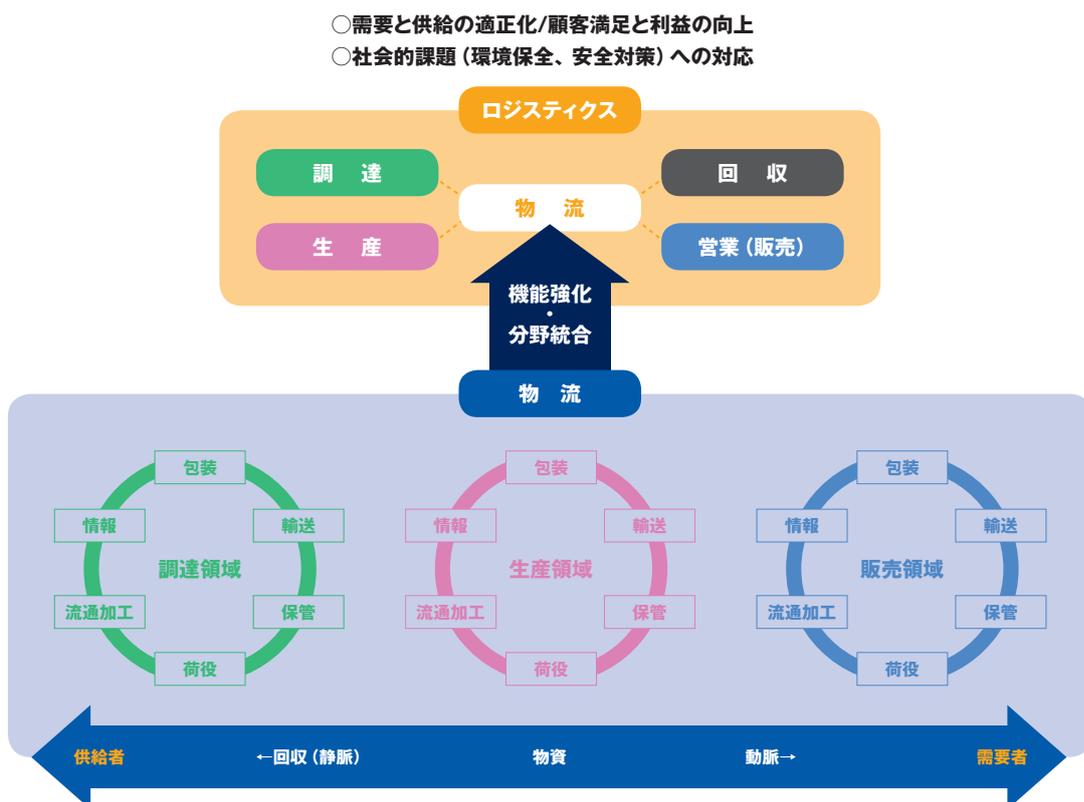
物流が物資を供給者から需要者へ、時間的、空間的に移動する過程の活動と定義されていること*2に対し、ロジスティクスは戦略的な経営管理であり物流を包含する上位の概念です(図1)。

物流分野の今日的課題①：物流コストの上昇

物流分野の今日的課題として、「物流コストの上昇」があげられます。公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(以下JILS)が継続して行っている物流コスト調査によれば、企業の売上高に対する物流コストの割合は、1996年度に6.58%の最大値を記録して以降順調に下がりましたが、最近では5%を切る水準を続けてきましたが、この間のトレンド分析から2015年度を底に現在は上昇期に入ったと考えられます(図2)。

製造業などの荷主企業の物流部門は“コストセンター”ゆえ、自社の利益を上げようと思えば物流コストを低減させねばなりません。物流二法の改正により道路貨物運送業の参入規制

図1 ロジスティクスと物流(ロジスティクスは物流を包含する)



- 需要と供給の適正化/顧客満足と利益の向上
- 社会的課題(環境保全、安全対策)への対応

* JILS=公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(Japan Institute of Logistics Systems)の略称

*1 (一社)日本規格協会:JISハンドブック62物流,(2016年),p.19.

*2 (一社)日本規格協会:JISハンドブック62物流,(2016年),p.19.



研究会

ベストプラクティスに学ぶ 中堅食品メーカー・流通関連企業 ロジスティクス実践研究会

※2019年度メンバー企業
味の素AGF(株)、AGF関東(株)、AGF鈴鹿(株)、(株)ケーシー・エス、(株)昭和紙工、太門通商(株)、トーカー・パッケージングシステム(株)、日本ノレックレンタル(株)、ハウス食品(株)、(株)ハンナ、三井農林(株)、(株)吉野家ホールディングス、ワム・システム・デザイン(株) (*1社複数名の参加企業有)

JILSでは食品製造業の70%強を占める中堅食品メーカー、食品流通にかかわる様々な業種・業態の企業の物流、ロジスティクス部門の責任者、担当者を対象とした「中堅食品メーカー・流通関連企業ロジスティクス実践研究会」(会期:2019年6月~2020年3月・全10会合)を開催しております。

本研究会は、製造原価低減、物流コストの適正化、生産性の向上、ロジスティクス改革のために食品メーカーや食品流通に関わる企業・機関等が取り組んでいる様々な方策や成功事例を題材とし、実務担当者をお招きして取組内容のご紹介をいただくとともに、実践段階での問題点や課題克服の方策などについて参加メンバーと意見交換を行う実践的な研究会となっています。

1. 研究会の特徴

- 「ベストプラクティスに学ぶ」を主眼に先進の食品メーカーの成功事例はもとより流通業の先進事例や行政機関の施策、大学等の研究課題等も題材として取り上げ、多種多様な視点で製造原価の低減、物流コストの適正化、労働力不足への対応、物流生産性の向上を実現するための方策を研究します。
- 研究会の開催時間は多忙な実務担当者が参加しやすい時間を考慮し、【17:00~19:00開催】を基本としています(現地研修プログラムを除く)。
- 毎回の会合では学識経験者、実務経験者の主査・副主査が事例講師として招聘した企業・機

関の取り組み内容のポイント、特徴を解説し、事例講師とのディスカッション、質疑応答等、講師・研究会メンバー相互の活発な意見交換を行います。

2. 2019年度の研究テーマと9月以降の開催プログラム

- 生産革新・小集団活動による製造原価低減活動の取り組み
- インランドデポの活用による物流の効率化、トラック回転率・積載率向上の取り組み
- AI、IoT等の新しいテクノロジーの活用や働き方改革による生産性向上への取り組み、等

9月11日(水)「シジシー日本の協業活動を支えるロジスティクス～サプライチェーン改革と効率的な商品供給体制の構築」
(株)シジシー 執行役員 物流事業部長 永田 孝司氏

10月2日(水)「インランドデポ(内陸における通関機能)の活用による物流改革と競争力強化」
～太田国際貨物ターミナル機能の活用現状と課題～
AGF関東(株) シニアマネージャー 阪口 宗氏

11月13日(水)「AI/IoTの活用による標準化の推進、効率化、生産性の向上への取り組み」
(株)ベイシア 執行役員 流通技術研究所 所長 重田 憲司氏

12月10日(火)「変革の時代に対応するロジスティクス再構築と実践」
研究会副主査 東京海洋大学 大学院評議員(前教授)川島 孝夫 氏

2020年

1月8日(水)「AI/IoT活用時代に対応するロジスティクス～情報共有・利活用によるロジスティクス高度化の推進(仮題)」
東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授 井村 直人氏

2月5日(水)「トラック輸送の現状とメーカーへの影響」
研究会主査 東京海洋大学 理事 副学長 黒川 久幸 氏

3月4日(水)【現地研修】(株)シジシー 神奈川JDセンター
シジシー日本のサプライチェーン改革のレクチャーとセンター見学による実践事例研究

研究会期中参加者を募集中です。お問合せはコチラまで customer@logistics.or.jp

ご入会をお待ちしております!

日本ロジスティクスシステム協会(JILS)の会員企業は、製造業、物流業、流通業などで構成されております。ロジスティクスに積極的に取り組む各業種・業界の代表的な企業が参加し、情報交流、情報収集、そしてビジネスチャンス拡大など様々なシーンに活用されています。この機会にぜひご入会をご検討ください。

Q 入会の具体的な特典は?

- 各地新春交流会、総会、研究会など交流の場への参加
 - 機関誌の無料配布(年間4回発行/1口3冊)
 - 各種情報サービス(メールマガジン、冊子等)
 - 当協会主催展示会の出展料優遇・入場券の無料配布
 - 教育プログラム、各種講座、協会主催イベントの参加割引
- 例えば、物流技術管理士資格認定講座受講料は…
会員 450,000円/1名 会員外 550,000円/1名
※受講料は税抜き価格です。
※受講料は2019年8月時点のものであり、変更となることがあります。

Q 会員の種別は? 会員になるための費用は?

	正会員(法人)	正会員(個人)
入会金	¥10,000	¥10,000
年会費	¥120,000	¥30,000

※正会員(法人)年会費は、1口の場合。講座、イベント等の事業利用の際、その法人会員企業に所属する社員全員に会員割引が適用されます。

事業案内・入会申込書のご請求はコチラまで customer@logistics.or.jp



JILS のウマい使い方

業界トレンド



「物流の課題をロジスティクスで解く」
持続可能な加工食品物流を
構築するために

はじめに：物流とロジスティクス

ロジスティクスは戦略的な経営管理です。その目標は、需要と供給の適正化をはかるとともに顧客満足を向上させ、あわせて環境保全及び安全対策をはじめ社会的課題への対応をめざすことにあります。物流はその手段であり、ロジスティクスは、包装・輸送・保管・荷役・流通加工・情報の6つの物流機能を高度化し、調達・生産・販売・回収の4つの物流分野を統合することで目標を実現します^{*1}。

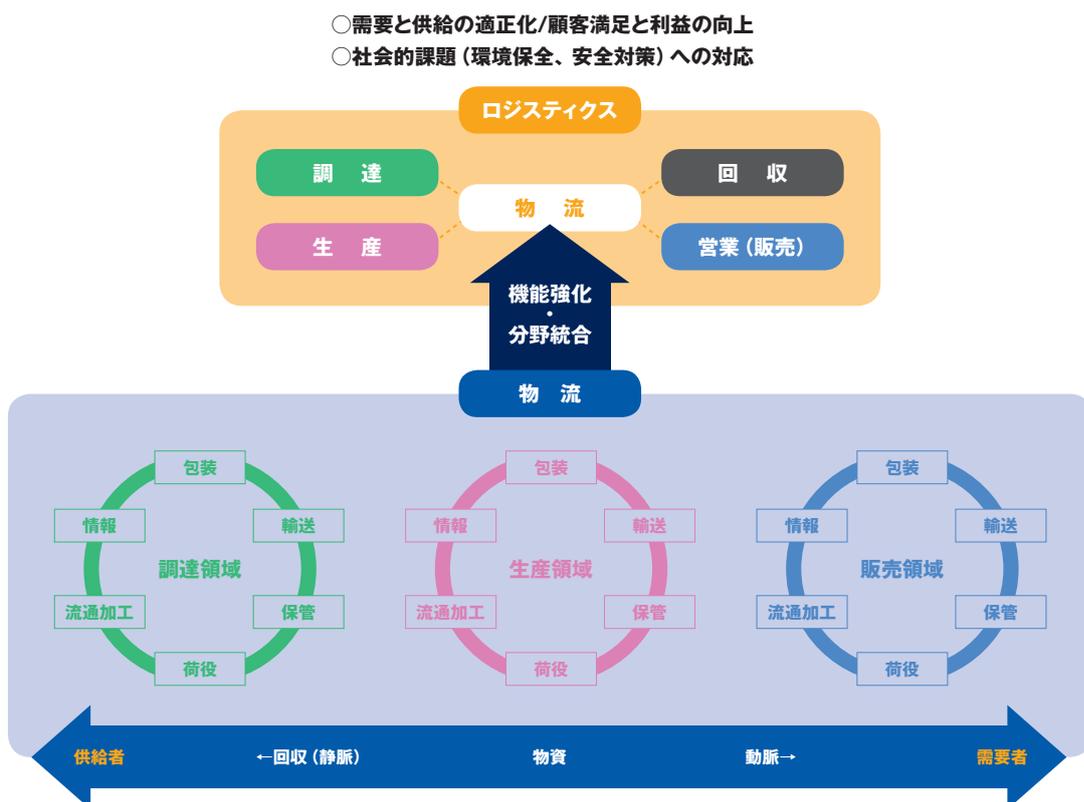
物流が物資を供給者から需要者へ、時間的、空間的に移動する過程の活動と定義されていること^{*2}に対し、ロジスティクスは戦略的な経営管理であり物流を包含する上位の概念です(図1)。

物流分野の今日的課題①：物流コストの上昇

物流分野の今日的課題として、「物流コストの上昇」があげられます。公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(以下JILS)が継続して行っている物流コスト調査によれば、企業の売上高に対する物流コストの割合は、1996年度に6.58%の最大値を記録して以降順調に下がりましたが、最近では5%を切る水準を続けてきましたが、この間のトレンド分析から2015年度を底に現在は上昇期に入ったと考えられます(図2)。

製造業などの荷主企業の物流部門は“コストセンター”ゆえ、自社の利益を上げようと思えば物流コストを低減させねばなりません。物流二法の改正により道路貨物運送業の参入規制

図1 ロジスティクスと物流(ロジスティクスは物流を包含する)



- 需要と供給の適正化/顧客満足と利益の向上
- 社会的課題(環境保全、安全対策)への対応

* JILS=公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 (Japan Institute of Logistics Systems) の略称

*1 (一社)日本規格協会:JISハンドブック62物流, (2016年), p.19.

*2 (一社)日本規格協会:JISハンドブック62物流, (2016年), p.19.



研究会

ベスト
プラクティスに学ぶ
中堅食品メーカー・流通関連企業
ロジスティクス実践研究会

JILSでは食品製造業の70%強を占める中堅食品メーカー、食品流通にかかわる様々な業種・業態の企業の物流、ロジスティクス部門の責任者、担当者を対象とした「中堅食品メーカー・流通関連企業ロジスティクス実践研究会」(会期:2019年6月~2020年3月・全10会合)を開催しております。

本研究会は、製造原価低減、物流コストの適正化、生産性の向上、ロジスティクス改革のために食品メーカーや食品流通に関わる企業・機関等が取り組んでいる様々な方策や成功事例を題材とし、実務担当者をお招きして取組内容のご紹介をいただくとともに、実践段階での問題点や課題克服の方策などについて参加メンバーと意見交換を行う実践的な研究会となっています。

1. 研究会の特徴

- 「ベストプラクティスに学ぶ」を主眼に先進の食品メーカーの成功事例はもとより流通業の先進事例や行政機関の施策、大学等の研究課題等も題材として取り上げ、多種多様な視点で製造原価の低減、物流コストの適正化、労働力不足への対応、物流生産性の向上を実現するための方策を研究します。
- 研究会の開催時間は多忙な実務担当者が参加しやすい時間を考慮し、【17:00~19:00開催】を基本としています(現地研修プログラムを除く)。
- 毎回の会合では学識経験者、実務経験者の主査・副主査が事例講師として招聘した企業・機

関の取り組み内容のポイント、特徴を解説し、事例講師とのディスカッション、質疑応答等、講師・研究会メンバー相互の活発な意見交換を行います。

2. 2019年度の研究テーマと9月以降の開催プログラム

- 生産革新・小集団活動による製造原価低減活動の取り組み
- インランドデポの活用による物流の効率化、トラック回転率・積載率向上の取り組み
- AI、IoT等の新しいテクノロジーの活用や働き方改革による生産性向上への取り組み、等

9月11日(水)「シジシー日本の協業活動を支えるロジスティクス～サプライチェーン改革と効率的な商品供給体制の構築」
(株)シジシージャパン 執行役員 物流事業部長 永田 孝司氏

10月2日(水)「インランドデポ(内陸における通関機能)の活用による物流改革と競争力強化」
～太田国際貨物ターミナル機能の活用の現状と課題～
AGF関東(株) シニアマネージャー 阪口 宗氏

11月13日(水)「AI/IoTの活用による標準化の推進、効率化、生産性の向上への取り組み」
(株)ペイシア 執行役員 流通技術研究所 所長 重田 憲司氏

12月10日(火)「変革の時代に対応するロジスティクス再構築と実践」
研究会副主査 東京海洋大学 大学院評議員(前教授)川島 孝夫 氏

2020年

1月8日(水)「AI/IoT活用時代に対応するロジスティクス～情報共有・利活用によるロジスティクス高度化の推進(仮題)」
東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授 井村 直人氏

2月5日(水)「トラック輸送の現状とメーカーへの影響」
研究会主査 東京海洋大学 理事 副学長 黒川 久幸 氏

3月4日(水)【現地研修】(株)シジシージャパン 神奈川JDセンター
シジシー日本のサプライチェーン改革のレクチャーとセンター見学による実践事例研究

※2019年度メンバー企業

味の素AGF(株)、AGF関東(株)、AGF鈴鹿(株)、(株)ケーシー・エス、(株)昭和紙工、太門通商(株)、トーカー・パッケージングシステム(株)、日本ノレックレンタル(株)、ハウス食品(株)、(株)ハンナ、三井農林(株)、(株)吉野家ホールディングス、ワム・システム・デザイン(株)(※1社複数名の参加企業有)

研究会期中参加者を募集中です。お問合せはコチラまで customer@logistics.or.jp

ご入会をお待ちしております!

日本ロジスティクスシステム協会(JILS)の会員企業は、製造業、物流業、流通業などで構成されております。ロジスティクスに積極的に取り組む各業種・業界の代表的な企業が参加し、情報交流、情報収集、そしてビジネスチャンス拡大など様々なシーンに活用されています。この機会にぜひご入会をご検討ください。

Q 入会の具体的な特典は?

- 各地新春交流会、総会、研究会など交流の場への参加
 - 機関誌の無料配布(年間4回発行/1口3冊)
 - 各種情報サービス(メールマガジン、冊子等)
 - 当協会主催展示会の出展料優遇・入場券の無料配布
 - 教育プログラム、各種講座、協会主催イベントの参加割引
- 例えば、物流技術管理士資格認定講座受講料は…
会員 450,000円/1名 会員外 550,000円/1名
※受講料は税抜き価格です。
※受講料は2019年8月時点のものであり、変更となることがあります。

Q 会員の種別は? 会員になるための費用は?

	正会員(法人)	正会員(個人)
入会金	¥10,000	¥10,000
年会費	¥120,000	¥30,000

※正会員(法人)年会費は、1口の場合。講座、イベント等の事業利用の際、その法人会員企業に所属する社員全員に会員割引が適用されます。

事業案内・入会申込書のご請求はコチラまで customer@logistics.or.jp

